

## 様式 1

## 横浜市川島町公園こどもログハウス 指定管理者事業計画書

平成 17 年 11 月 16 日

団体名	保土ヶ谷区区民利用施設協会		
代表者	会長 橋本 淳	団体設立年月日	平成 7 年 4 月 1 日
団体所在地	横浜市保土ヶ谷区川辺町 5-11 かるがも 3 階		
連絡先	Tel 045-348-2361 Fax 045-348-2362		
現在運営している施設名	施設種別	施設所在地	運営期間
横浜市 ほどがや地区センター	地区センター	保土ヶ谷区天王町 1-21	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 西谷地区センター	地区センター	保土ヶ谷区西谷町 918	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 初音が丘地区センター	地区センター	保土ヶ谷区藤塚町 15-1	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 今井地区センター	地区センター	保土ヶ谷区今井町 412-8	始平成 11 年 5 月 30 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 桜ヶ丘コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区岩崎町 15-30	始平成 11 年 5 月 15 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 峯小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区峰岡町 1-10	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 笹山小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区上菅田町 1422	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 くぬぎ台小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区川島町 1374-1	始平成 17 年 5 月 15 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 瀬戸ヶ谷スポーツ会館	スポーツ会館	保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町 71	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日
横浜市 川島町公園こどもログハウス	ログハウス	保土ヶ谷区川島町 825-1	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日

## 1 申請団体に関すること

- (1) 団体の経営方針について
- (2) 団体の事業(活動)実績について

### (1) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針について

- ア 区民のニーズに応え、公共的かつ公平性を担保した区民利用施設の管理運営を行うこと
- イ 区民の自主的な活動の支援を通じて、区民を主体とした活力とふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成に寄与すること
- ウ 効率的かつ効果的な区民利用施設の運営を行うこと
- エ 公の施設の管理運営の実績を生かし安定した経営に努めること

### (2) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について

平成7年4月1日に地区センター3館・コミュニティハウス2館・こどもログハウス及びスポーツ会館の合計7館で運営を開始し、その後地区センター1館、コミュニティハウス2館を加え、10館の管理運営を職員116名で実施しています。この間、地域に密着した運営に努め、利用者の拡大に努めてまいりました。

平成16年度の総利用者数は527,528人となっています。

#### 各館の利用実績(平成16年度)

施設名	延べ 利用者数	自主事業数	参加延べ数
ほどがや地区センター	150,962	25(76回)	4,971
西谷地区センター	115,821	24(65回)	5,338
初音が丘地区センター	71,418	25(140回)	4,939
今井地区センター	88,162	33(94回)	5,445
桜ヶ丘コミュニティハウス	36,121	24(71回)	1,202
峯小学校コミュニティハウス	10,657	2(48回)	940
笹山小学校コミュニティハウス	7,675	11(183回)	3,901
くぬぎ台小学校コミュニティハウス	5/14に開館	一	一
瀬戸ヶ谷スポーツ会館	14,481	4(12回)	134
川島町公園こどもログハウス	32,231	11(23回)	1,720

※ A4版1枚内でまとめるよう、お願ひいたします。

## 2 こどもログハウスの管理運営に関する基本方針について

- (1) 施設の設置目的を踏まえた運営方針
- (2) 施設が設置される地域における関わりや取組方針

こどもログハウスは、「こども同士の遊びを通じ、青少年の健全育成を育むことのできる場」という設置理念に基づき次のような運営を行います。

- (1) ログハウスは、異年齢の子どもたちが常時集い、遊びを通して創造性や協調性を養うことができる公共の施設です。子どもにとっては友達と新しい遊びの発見の場所とし、親子にはコミュニケーション・スキンシップの再認識ができる場所とします。放課後の児童が安心して過ごせるよう、みんなが平等に楽しく利用できるように管理運営に努めて行きます。
- (2) 地域の町内会行事（運動会、交通安全教室）として施設を利用し、施設側も協力をしています。そして近隣の西谷中学校の生徒の息抜きの場として、また部活動の休憩地点として安心して利用されています。中学校から学校通信をいただき館内に掲示して地域の掲示板として活用してもらっています。

幼稚園、保育園、小学校、学童保育では施設を毎年の遠足や遊びの場として活用し、学校では体験できない遊びや遊具を楽しんでもらい、子どもたちにも先生方にも大変喜ばれています。

子育てをしているグループも自主的に活動のため施設を利用しています。親子で楽しく遊んだ後、ベランダでお弁当を広げ、とても和やかで楽しい雰囲気の場面もしばしば見受けられ、子育ての拠点として定着しています。

一般の方、団体の方々が平等に気持ちよく施設を利用できることを基本に、引率者や子どもたちへ利用のアドバイスを行っています。また、月ごとの団体利用予定を掲示板やインターネットでお知らせをして、利用状況が確認できるように情報を提供しています。

運営委員会を開催するとほとんどの方が出席され、いじめ、怪我、遊具の安全性等に関する質問をされます。学校の先生、PTA、子ども会、保護司、地元自治会の代表者が気持ちを一つに「地域でしっかりと子育てをしよう」とログハウスを温かく見守ってくださっていることの現われだと思っています。私たちはそれにお応えできるような管理運営に取り組んでまいります。

※ A4版1枚内でまとめるよう、お願ひいたします。

### 3 区の特徴・区政運営方針等の理解と運営方針への反映について

区政運営方針では地域全体で展開する『子育て・青少年健全育成への支援』をかかげています。川島町公園こどもログハウスを『子育て・青少年健全育成への支援の場』と位置づけ、それを具現化するために「地域で子育て」を目標にさらに活性化していきたいと思っています。

- 1 放課後児童の心地よい居場所となるようにする
- 2 区子連のジュニアリーダーの活用でプレイリーダーの養成
- 3 障害児への理解を深め、広くみんなにも知ってもらう
- 4 子育てはまず親支援、子育てママたちがみんなで協力して何かをやり遂げができるイベント企画

#### 少子化・核家族化の進行や社会の急速な変化に対応するために

保土ヶ谷区の人口動態によると、15歳未満の子どもたちは年毎に減少しています。兄弟姉妹・友人との関わりが薄く、切磋琢磨の機会に恵まれません。さらに親の過干渉により自主性が損なわれるのも問題です。これらの現代的な子どもたちの成長、環境をふまえながら、公共の遊び場施設として、地域の町内会、幼稚園、保育園、学校関係と連携して社会全体で子どもたちと子育てをしている親子に関わることが大切だと思います。

地元の小学校便りで校長先生は「子どもたちに精神面でたくましく生きる力が不足している」と憂慮されておられます。ログハウスは常時異年齢の子どもたちが集い、スタッフや大人たちが大きな子には小さな子への対応を教え、遊びながら人との関わり方を学べる場でもあります。けんかをしたり、ログハウスで遊びをとおして子どもたちに「たくましく生きる力」を育みたいと思います。

小学校などでも児童数減少の傾向は強く、縦割り班を作つて総合学習の時間にグループ活動をあてるなど、いろいろな人や機会に接する場面を増やすように努力しており、そのような活動に施設を提供するなど協力していきたいと思います。

また区役所の生涯学級で子どもの居場所づくりに取り組んでおられますが、ログハウススタッフもメンバーの一員となって、その活動に積極的に参加しています。

この施設を拠点として、各団体や近隣の区民利用施設、地域の方々と連携し、「子どもたちを健やかに育むため、また子育てが楽しくなるような場所」として活用してもらえるように意識を持ち運営してまいります。

※ A4版1枚内でまとめるよう、お願ひいたします。

#### 4 地域及び利用者ニーズの把握と運営への反映について

- (1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について
- (2) (1)で把握したニーズの運営への反映の仕方について

##### (1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

利用者のほとんどが小学生と幼児であるため、利用者本人のニーズを把握しにくいところはありますが、幼児同伴の母親からはスタッフが直接要望等について把握するようにしています。

また、運営委員会の存在は重要です。地元町内会、学校関係者、各種団体などの方からは、幅広い地域のニーズを得ることが出来ます。

職員も地域在住であり、子育て中のスタッフは学校や地域の子どもたちの情報を数多く持っているので活用しています。

スタッフの明るいあいさつから始まる人と人の関わり、誠意ある姿勢が利用者とのコミュニケーションを深めていきます。そしていろいろな話題からこんなものがあったら、こんなことしてもらえたたらというニーズが出てくると思います。また、今後はアンケート用紙を用意していつでも誰でもニーズが書き込め投稿できるように提案箱を設置します。利用団体・者の利用後アンケート、イベントごとのアンケート記入なども検討してまいります。

##### (2) (1)で把握したニーズの運営への反映の仕方について

提案箱は日々確認し、できることから迅速に対応して、利用者にもそのニーズや対応状況をログハウスだよりやインターネットを通じて伝えてまいります。

施設整備や運営の根幹に係わることなどは、区役所、環境創造局、保土ヶ谷土木事務所などと連携をとりながら改善・管理運営してまいります。

## 5 利用者へサービス提供に対する考え方

- (1) すべての利用者への公平なサービス提供について
- (2) 利用者の立場に立ったサービス提供及び情報提供について
- (3) 苦情処理対策について

### (1) すべての利用者への公平なサービス提供について

ログハウスを日常利用する子どもは近隣に居住しています。そのため親子共々特定の人たちと親しくなる傾向がありますが、スタッフ一同利用する方々に誠意を持ち、平等に接することを基本としています。また、いつも施設内を安全に楽しく利用できるように施設内点検、遊具点検（チェックシートによる）、備品管理を整え、みんなが気持ちよく使えるようにアドバイスすることも利用者への公平なサービス提供と考えます。

### (2) 利用者の立場に立ったサービス提供及び情報提供について

利用したいときに気軽に利用できることが大切なことだと思います。「今日やっていますか？場所はどこですか？」という電話対応から場所確認の地図の提供、イベント予定の情報提供など広報やチラシまたインターネットを通じて広く提供することにより多くの利用者が訪れています。また、イベント情報等については、広報区版、区ホームページに掲載していただくほか、YCV、タウン誌などを活用しています。

年4回「ログハウス便り」を発行し、学校などに配布しています。ログハウス内にもいろいろな掲示物を貼りますが、イラストなどで工夫し、子どもたちに理解できるよう作成しています。

ログハウスの「利用案内」（パンフレット）は、イベントや館内の紹介、施設の案内図を手作りで作成し、誰にでも提供できるようにしております。

### (3) 苦情処理対策について

直接寄せられる苦情は、スタッフひとりひとりが迅速に対応するように常に心がけています。スタッフ同士の判断により協会対応が必要な場合は素早く連携をとり、スタッフ全員が徹底すべき内容など「連絡ノート」を通じてみんなで確認しあっています。

今後はイベントごとのアンケート作成・回収、伝えにくい内容のための「提案箱」、またはインターネットによるメールや掲示板での対応など検討してまいります

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願ひいたします。

## 6 自主事業の提案について

### (1) 自主事業計画に関する基本方針

※ 具体的な計画については、様式2及び様式3に記載すること

1 子どもたちが主体的に事業に参加し、仲間と遊ぶ楽しさを体験する。

2 遊びをとおして、他の人格を認め、やさしさが育まれるようにする。

3 子育てに関する情報交換の場となるようにする。

#### 子どもが主体的であること

遊び場の主人公は子どもたちである。しかし、彼らの意見は無視されがちで、子どもたちが望んでいるだろうと、こちらが勝手にプランを決めてしまう。

18年度はプランの段階から子どもに参加してもらい、子どもの視点に立った事業を計画していく。地域の大人たちに見守られながら、子どもたちが主体的に事業に参加し、達成感や仲間と遊ぶ楽しさを体験してもらいたい。

#### 子どもの自発的な興味を引き出す事業

子どものプレイリーダー「遊び(事業)のお手伝いさん」育成。

事業実施の際、「こんなことができたらいいな」など子どもたちからアドバイスをしてもらい、そのお手伝いもしてもらう。

学校では目立たない子どもが、ログハウスでは生き生きとリーダーシップをとる。子どもだからできる遊びや友達との交わりのなかで、人間として生き抜いていく知恵と力が自然と備わって行くことだと思います。

子どもの遊びは人間関係をつくる基本であり、遊びをとおして他の人格を認め、やさしさが育まれるような事業を展開したい。

放課後児童の居場所となるように気長に見守っていきたい。

#### 子育て支援・親子サークルの支援

「ちびっこプレイデー」をさらに充実させ、乳幼児とその親がいっしょに遊びながら子育てについての悩みや疑問を気軽に話せるような場を設けます。事業をとおして、ここで出会った子育てママをサークル化して、孤立して子育てをしている親を一人でも無くしたいと思っています。ログハウスを安心・安全な子どもの遊び場として、また、親同士の交流・子育て情報交換の場としたいです。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願ひいたします。

## 7 管理経費に関する考え方

- (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について
- (2) 経費節減のための工夫について

### (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について

- ア 施設管理・経理等を、当区民施設協会が運営している他の施設と一体的に行うことにより効率的かつ管理費の縮減を図り、サービスの低下を招かず、利用しやすい施設を目指します。
- イ 施設を安定的に管理するために、永年培った経験により競争性の導入やスケールメリットを生かし、さらに堅実な施設管理業者と業務提携することにより、利用しやすい施設サービスを図ります。

### (2) 経費節減のための工夫について

#### ア 機械警備費の見直しと経費の縮減

現在、夜間時間を特定せずに巡回を依頼しているが、これを廃止します。

この巡回は、青少年の非行（花火や喫煙など）により、木製建物の性質上火災防止のため契約していましたが、近年異状が見当たらないため廃止します。

#### イ 清掃業務委託経費の縮減

現在隔月で清掃業者により定期清掃を行っているが、他業者との見積り合せにより平米単価を切り下げる。1m<sup>2</sup>あたり55円を50円に交渉済みです。

#### ウ 通信費（郵送料）の節約

- ・ ログハウスだよりを各区のログハウスに郵送しているが、FAXやインターネットを活用して郵送料の縮減を図ります。
- ・ 電話料金の節約のためメールを活用します。

#### エ 消耗品費の節約

- ・ 生涯学習支援センターで掲示済みの大きなポスターをいただき、イベントの案内や子どもたちのお絵かきなどに利用します。

近隣の印刷屋さんからいただいた紙が大変役にたっています。

- ・ 家庭での不用品の寄付をお願いします。

#### オ 事業費の節約

- ・ 事業実施の際、生涯学習支援センターの応援隊を活用させていただきます。

また、イベントには地域の方々や団体にボランティアでご協力ををお願いしたいと思っています。

上記のように節約を心がけながら、印刷機などの利用を広く周知させ、収入も確保して行きたいと思います。

※ A4版1枚内でまとめるよう、お願ひいたします。

## 8 施設運営に関する職員体制及び職員育成の考え方について

- (1) 職員の配置及び採用について
- (2) 職員の研修計画について

### (1) 職員の配置及び採用について

子どもの遊びを見守り、各自の興味や関心を誘引できる職員、そして子どもや親の相談相手になり、適切なアドバイスができる職員が常駐していることが望ましいと思います。そのためには豊富な知識を持っていることも必要ですが、研修によりその専門性を習得することもできます。経験の積み重ねを必要とするので、雇用更新期間を5年とします。

#### [職員の配置]

午前：2名

午後：2名

#### [職員の勤務体制]

総勢12名のローテーション勤務とする

#### [採用条件]

採用は近隣の地域に居住するひとと

可能な限り専門性を身につけたひと

### (2) 職員の研修計画について

利用者ニーズが多様化してきており、ニーズに適切に対応するためには、スタッフ一人ひとりの能力向上はもちろんのこと、利用者サービスに徹するログハウスの運営が求められます。

そこで、協会では次のような研修を実施します。

- ・ 新規雇用者に対する採用時接遇研修
- ・ 横浜市青少年育成センター主催による「ログハウス新任スタッフ研修」への参加
- ・ 個人情報取り扱い研修及び人権研修への参加の促進
- ・ 子どものあそびや子どもに関する学びの場の情報提供
- ・ ログハウス勤務作業マニュアルに基づく採用時実務研修

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願ひいたします。

## 9 個人情報の保護について

### (1) 個人情報保護に関する措置

#### (1) 個人情報保護に関する措置

個人情報の保護に関する法律、条例はもちろん、こどもログハウス指定管理者募集要項の中で示された、「個人情報保護取扱特記事項」を厳しく守っていきます。

日常の利用時に氏名、住所、学年、電話番号を受付簿に記入してもらっています。これは来館した子どもの緊急時の連絡と横浜市へ提出する統計の資料のためであって、情報の収集は必要最低限に留めます。それ以外に個人情報を扱うことはありません。

個人情報の保護については、次により取り扱います。

- ア 受付簿については、取扱に注意し、保管は鍵のついた書庫で行い、1年間経過したものは、月ごとにシュレッダーにかけて廃棄します。
- イ 不必要な個人情報を新たに収集しません。
- ウ 第三者に個人情報を提供しないことを徹底します。
- エ 個人情報は施設利用者の資産であることの意識を徹底し、情報、データーの取り扱いについて、一人ひとりの意識を改革します。
- オ ホームページに写真を載せるときは本人の了解をとります。

## 10 緊急時対応（危機管理のあり方）について

- (1) 防犯、防災、その他緊急時の対応について
- (2) 利用児童等の安全管理について

### (1) 防犯、防災、その他緊急時の対応について

ア 今までの記録確認やそれぞれの経験による情報提供、常日頃からの心構え等の確認をスタッフ一同で話し合っています。また、防犯・防災に対する用具の設置（不審者対策ネット）、事故怪我の応急処置の研修により、より専門的な知識を習得し対応を学びます。

全てのスタッフが救急救命資格を取得できるようにします。

イ 災害時の利用者への安全についても職員一同話し合いお互いに確認しています。震災時の場合子どもの安全を第一に考え、まずはログハウス内に待機させ情報収集し、子どもを一人では帰さず保護者へ連絡し迎えに来てもらいます。ログハウス災害時マニュアルを作成します。今後は保護者向けにログハウスでの災害時の対応についてのお知らせを検討しております。

ウ ログハウスは施設の規模が小さく、消防法に定められた消防計画書の提出は義務付けられていませんが、不特定多数の人たちが多数出入りするため、任意で届け出をしております。災害時には自衛消防隊の組織に基づき行動します。年1回災害時等の避難訓練を地元西谷消防署のご協力をいただき開館時に行います。

エ 火災、盗難、不法侵入の発生警戒のため機械警備を委託しているが、日中不測の事態に備え非常通報システムにより、安全を確保しています。

### (2) 利用児童等の安全管理について

ア 子どもがけがをし、通院や入院したときに保護者からのクレームは全く無く、むしろ感謝の言葉をいただいています。それはスタッフの迅速な対応と加入していた傷害保険のお陰だと思っています。子どもの遊び場のため、怪我は避けられないし、保険加入は施設を運営していく上で必要不可欠なものです。子どもたちに安心して施設を利用もらうために、施設賠償責任保険及び傷害保険に加入いたします。

イ 利用者の安全確保のため、地下迷路の監視カメラを受付で常時確認しています。

また、午前2回、午後2回、巡査と称して、館内（トイレの中、子どもエレベータ、地下迷路、外周など）をスタッフが確認のため巡回しています。

## 平成 18 年度 横浜市川島町公園こどもログハウス 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

事業名	対象	自主事業予算額				
		総経費	収入		支出	
			委託料	その他	材料費	その他
窓にお絵かき (テーマを決めて全10回)	幼児～ 中学生	5,000	5,000		5,000	0
おはなし会(全10回)	幼児～ 中学生	5,000	5,000			5,000
プレイデー トランポリンで遊ぼう	幼児～ 中学生	1,000	1,000		0	1,000
プレイデー おにいさんおねえさんとあそぼ！	幼児～ 中学生	1,000	1,000			1,000
プレイデー 虫博士の昆虫教室	幼児～ 中学生	5,000	5,000		5,000	
プレイデー シャボン玉とばそ！	幼児～ 中学生	3,000	3,000		3,000	
プレイデー けやきまつり	幼児～ 中学生	50,000	50,000		20,000	30,000
プレイデー クリスマス工作	幼児～ 中学生	5,000	5,000		5,000	
プレイデー チャレンジ ランキング	幼児～ 中学生	3,000	3,000		3,000	
プレイデー 地下迷路でゴーゴー	幼児～ 中学生	2,000	2,000		2,000	
プレイデー スライムつくろ！	幼児～ 中学生	2,000	2,000		2,000	
小計		82,000	82,000		45,000	37,000

事業ごとに内容を様式 3 に記載してください。

## 様式 3

## 平成18年度 横浜市川島町公園こどもログハウス 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
窓におえかき	ログハウスの大きな窓ガラスにテーマに沿って子どもたちが自由にのびのびと絵を描くことができるイベントです。子どもたちにとってはガラスに絵を描くことなどないためとても喜ばれているイベントです。描かれた絵は1ヶ月間展示され来館者にも見てもらえます。	毎月 第4土曜日 全11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会	読み聞かせボランティアグループ“茶々～チャチャ～”による絵本の読み聞かせ。 絵本の読み聞かせは子どもの心に楽しい創造の世界を広げます。 テレビなどの映像と違い、話し手と子どもたちのコミュニケーションも図りたい。	毎月 第1火曜日 全10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プレイデー 「トランポリンであそぼう」	全身を使って飛び跳ねバランス感覚を楽しむ。ログハウスにある遊具の活用。場所をとり、危険を伴うので介添えが必要なため、日常の遊具として子どもだけでは利用できません。子どもたちに人気が高く、順番を待つて繰り返し飛び跳ねています。幼児はジャンプが出来るだけでもお兄さんになった感覚。できれば地元の体育指導員の手を借りて回数を増やしたい。	5月 第2土曜日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プレイデー 「おにいさん おねえさんとあそぼ！」	保土ヶ谷区ジュニアリーダースクラブのおにいさんおねえさんと一緒に遊ぶ。集団遊びの研修を積み重ねたジュニアリーダーの人たちに遊びの楽しさやその日限りではない遊びの連続性、仲間作りを指導してもらう。子どもたちの中から遊びのリーダー(ガキ大将)が出てくることも期待したい。	6月・10月 第2土曜日 1回

## 様式 3

## 平成18年度 横浜市川島町公園こどもログハウス 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プレイデー 「チャレンジランギング」	いろいろな競技、缶つみ、新聞を細く長くやぶる、箸を使って大豆を隣のさらに移す等身近で簡単にできる遊びを取り入れて、みんなでタイムや記録を競い合います。	1月 第2土曜日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プレイデー 「地下迷路ゴーゴー」	地下迷路におとぎの空間を作成。こどもたちの大好きなミニスケボーなどに乗って、クイズやゲームをクリアしながら、地下迷路をぐるぐる廻ります。 こどもたちにもプラン作りから参加してもらい、イベントへの参加意識を高める。	2月 第2土曜日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プレイデー 「スライム作ろう」	家庭にある洗濯のりと色水、ホウ砂水溶液を使って子どもの目の前で簡単に出来る科学の実験です。でき上がったスライムでその場で遊ぶこともでき、またイベント用に用意した大量のスライムを自由に使って遊べ、家庭ではなかなかできない遊びを行います。	7月 第2土曜日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「赤ちゃんと遊ぼう 保健士さんも参加」	年度初めとして保健士さんも参加。年間を通してちびっこタイムという子育て支援イベントとしてPR。 子育てで不安な母親たちのために安心して遊べるログハウスの紹介を兼ねて保健婦さんを呼び子育てについてのお話や、ログハウススタッフによる遊びの指導をするイベントです。	4月 第3火曜 全12回のうちの1回

## 平成18年度 横浜市川島町公園こどもログハウス 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「手遊び、紙芝居、子育てトーク」 テーマ『病気・ケガ』	幼児を対象とした手遊びや紙芝居や集団遊び等みんなで遊ぶ楽しさを経験してもらう。 集まったママたちは子育てについて話し合い、友だち作りやサークル作りのきっかけとなるよう子育て支援を目的としたイベントです。	毎月 第3火曜 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「手遊び、紙芝居、入浴剤作り」	幼児を対象とした手遊びや紙芝居や集団遊び等みんなで遊ぶ楽しさを経験してもらう。 参加したお母さんたちと肌にやさしい入浴剤を作ります。市販のものとは違い刺激が少なく、安価にできる入浴剤できっと喜ばれると思います。	10月 第3火曜 全12回のうちの1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「お外で水あそび」	幼児を対象とした手遊びや紙芝居や集団遊び等みんなで遊ぶ楽しさを経験してもらう。 ログハウスの前庭にブル-シートを敷き、ミニプールを数個用意し、こどもたちに水遊びをしてもらいます。家庭とはちがいお友だちと肌を触れ合いながら楽しめます。	7月 第3火曜 全12回のうちの1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「手遊び、紙芝居、子育てトーク」 テーマ『食』	幼児を対象とした手遊びや紙芝居や集団遊び等みんなで遊ぶ楽しさを経験してもらう。 好き嫌いの出てくる年齢に達した幼児への対応でお母さんたちが毎日いちばん悩む「食」について、保健士さんや先輩ママに助言をもらい、みんなで話し合いながらすすめて行きます。	10月 第3火曜 全12回のうちの1回

## 様式 3

## 平成18年度 横浜市川島町公園こどもログハウス 自主事業別計画書

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「手遊び、紙芝居、歯磨き指導」	歯科衛生士さんに依頼。 幼児の歯科について学ぶ機会がなかなかないので、虫歯になる前に少しでも専門的な知識を学んでもらいたいイベントです。	10月 第3火曜 全12回のうちの1回

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「手遊び、紙芝居、工作」	毎月行われるちびっこタイムに変化をつけ魅力ある内容に計画。遊びと共に、簡単な工作によって指先の練習と作る楽しさを経験してもらうイベントです。	1月 第3火曜 全12回のうちの1回

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
ちびっこタイム 「手遊び、紙芝居、子育てトーク」	幼児を対象とした手遊びや紙芝居や集団遊び等みんなで遊ぶ楽しさを経験してもらう。 子育てトークはテーマを決めず、こんなことを話したい、聞きたいなどと当日提案してもらい、スタッフがコーディネート役を務めながら進めていきます。	11月・12月・2月 3月 第3火曜 全12回のうちの4回

## 川島町公園こどもログハウスの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)			6,940
項目	委託予定金額		6,940 ✓
支出合計(B)			6,940
項 目	人件費	スタッフ12名(時給840円) ・賃金・社会保険料(労災保険)・通勤費 ・健康診断	5,163
	事務費	・旅費・消耗品費・会議賄費・印刷製本費 ・通信費・備品購入費・施設賠償責任保険 ・振込手数料・諸費	370
	事業費		100
	管理費	・清掃費・修繕費 ・機械警備費 ・害虫駆除 ・その他保全費(ごみ回収費)	729
	消費税		258
	事業所税		0
	事務経費	労務経費	320
収支(A)-(B)			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。

支出内訳

施設賠償保険及び普通傷害保険について

項目	金額
<b>1 人件費</b>	<b>5,163</b>
(1) 賃金	5,109
職員賃金	5,109
(2) 社会保険料	26
労災保険料	26
(3) 通勤手当	4
(4) 健康診断費	24
<b>2 事務費</b>	<b>370</b>
(1) 旅費	7
(2) 消耗品費	80
(3) 会議賄費	16
(4) 印刷製本費	3
(5) 通信費	111
(6) 備品購入費	50
(7) 施設賠償責任保険	79
(8) 振込手数料	4
(9) 諸費	20
<b>3 事業費</b>	<b>100</b>
<b>4 管理費</b>	<b>729</b>
(1) 清掃費	78
(2) 修繕費	100
(3) 機械警備費	467
(4) 害虫駆除費	35
(5) その他保全費	49
<b>5 消費税</b>	<b>258</b>
<b>合 計</b>	<b>6,620</b>

支出計（消費税含まず）	6,362
消費税	258
労務経費	320
<b>合 計</b>	<b>6,940</b>

18年度掛け金			
傷害保険料	76,000		
賠償保険料		3,000	79,000
<b>18年度</b>			
<b>普 通 保 險 傷 害</b>	<b>掛け金</b>	76,000円	
	<b>給付額</b>	死亡保険金 入院(一日あたり)	100万円 1,500円
	<b>掛け金</b>	通院(一日あたり)	1,000円
<b>賠 償 保 險 責 任</b>	<b>賠償区分</b>	1名	※
	対人賠償1名	50,000千円	100,000千円
	対物賠償		30,000千円

※ 対物賠償1事故・1請求・または1保証

管理費内訳	
清掃費	年2回(窓ガラス清掃含む)
機械警備費	夜間巡回含まず
害虫駆除費	ゴキブリ等殺虫作業料(年2回)
その他保全費	ごみルート回収費